



利根山光人

Toneyama Kojin

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花 15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808

平成31年度前期企画展

利根山光人 反骨のバイタリティー

—当美術館初公開作品を含む所蔵版画展—

今回の企画展は、日本の民俗芸能のスケッチや水彩画などを中心とした昨年度の所蔵作品展とはまた違った、当美術館初公開作品を含む、諸外国の風物をテーマとした版画作品24点を展示しています。

反骨精神にもとづいた「生命の謳歌」や「人間性の解放」などのテーマ性と共に版画表現が持つ大胆で明快な形や色、刷りの魅力なども感じ取っていただけたら幸いです。

全国各地を巡り、感じた感動や衝撃を情熱的に描いた「太陽の画家」利根山光人画伯の作品をぜひご覧ください。

※5月31日(金)展示替えのため休館日となります。



Toneyama Kojin Memorial Art Museum
利根山光人
記念美術館

平成31年度前期企画展

反骨のバイタリティー

—当美術館初公開作品を含む所蔵版画展—

2019年4月1日(月) - 5月30日(木)

北上市立利根山光人記念美術館

常設展示「東北の祭り」シリーズ開催中

主催 北上市 北上市教育委員会

※5月31日(金)展示替えのため休館



利根山光人

誕生(リトグラフ)



今後の企画展の予定

※8月30日(金)は展示替えのため休館日となります。

■鬼柳吉治展 6月1日(土)~8月29日(木)

勇壮で幽玄な鬼剣舞に魅せられ、命の限り絵を描き続けた画家の遺作展

■菊池咲展 8月31日(土)~11月30日(土)

2012年トリエンナーレきたかみ大賞受賞作品を含む現役若手作家の作品展

絵画教室修了生による『第22回光の会美術展』を開催しました

平成31年3月23日(土)~26日(火)の4日間、北上市市民交流プラザで、利根山光人記念美術館移動展「第22回光の会美術展」が開催されました。

昨年の8月に絵画教室を修了した生徒含む31名の作品49点と招待作家2名、利根山画伯の作品を展示しました。

風景や人物、静物、家族やペットなど画題もさまざまで、小品から100号の大作まで、油彩や水彩の技法で豊かに表現されていました。

※光の会とは、利根山光人記念美術館絵画教室修了生によるものであり、今年度の受講生は23回生となっております。



～@TONE 美～ 『コミュニティとしての美術館』

昨年度の企画展「桑原イト子コレクション展」には多くの方々に足をお運びいただき盛況であったが、美術品のコレクターにして地元根付いた社会運動の先駆者の業績を具体的に把握し共有するに足る資料がいまひとつ揃わないまま開催に踏み切らざるを得なかった面があった。

ところが会期中、桑原女史の知人、地元地域の住民、かつての職場の同僚や後輩と名乗る方々が次々に来館され、懐かしく女史のことを語っていかれたことによって思いがけずその人となりや仕事ぶりなどを知ることになった。

コレクションしていた有名作家の美術館初公開作品を鑑賞するというより、懐かしく女史の思い出を語られるご高齢の方々のお話に、こちらもつい聞き入ってしまう場面が多かった。

会期も終盤を迎えた頃、山形大学地域教育文化学部准教授の安藤氏が、生活改良普及員として桑原女史の後輩だったというお母様と、自らの研究の一環という目的もあり来館された。安藤氏からはその後、「岩手県の生活改良普及事業」に関する論文も送っていただき、戦後の農村社会や当時の桑原女史の活動の背景を知ることができた。

ある方は「財産の一切を潔く処分し、生前葬まで済ませてしまって人生の終焉の迎え方も見事だった」と言う。

奔放でユニークな方、仕事には厳しい方、優しく楽しい話好きな方・・・語られる桑原像も人によって様々であったが、そんな話を伺いながら開催前に不十分だった研究調査の穴埋めがなされ、桑原イト子という人物像が完成されていくような感じがした。

と同時に、もしかしたら「桑原さん」について語りたい方はたくさんいて、今回の企画展がその「場」を提供することになったのではないかと。美術館とは情報提供の場であると同時に双方向の情報交換の場でもある・・・ということにも改めて気づかされた。

それは、地域にあり地域で生かされる美術館の一つの理想形でもある。

ともすればネット上の情報を鵜呑みにしてコピー&ペーストでわかったようなつもりになる昨今の風潮の中で、作家やコレクターと関わった人々がつながることによってゆっくりと明らかになる全体像こそが我々が咀嚼し遺していくべき価値なのではないか。

コミュニティとしての美術館。

利根山画伯はここを美術や文化を語る「サロン」としたいと考えていた。展示室の一つのスペースが「談話室」であることもその考えの現れで、来館者がここで語り合い芸術文化を展望することを画伯は望んでいたのだ。

来館される方々が我々研究員個々に語られる話をどういった形で共有し還元していくべきかを課題とし、「地域で活かされる美術館」のあり方を引き続き探していきたい。

(専任研究員)



平成31年度の利根山光人記念美術館専任研究員は次のとおりです。

専任研究員の出勤曜日をお知らせします。

きくち ひとみ たかぎ しゅんじ ちだ ひろぶみ たかはし ひらみつ
菊地仁美(日・月) 高木俊士(火・水) 千田浩文(木) 高橋平光(金・土) よろしくお願ひします。

※都合により変更の時がありますので、直接美術館へお問い合わせください。 電話番号0197-65-1808

発行 北上市まちづくり部生涯学習文化課

〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 電話 0197-72-8304 FAX 0197-63-3121